

タ Kubo 物置

Vol.8

Mr.シャッターマン **ダンディ**

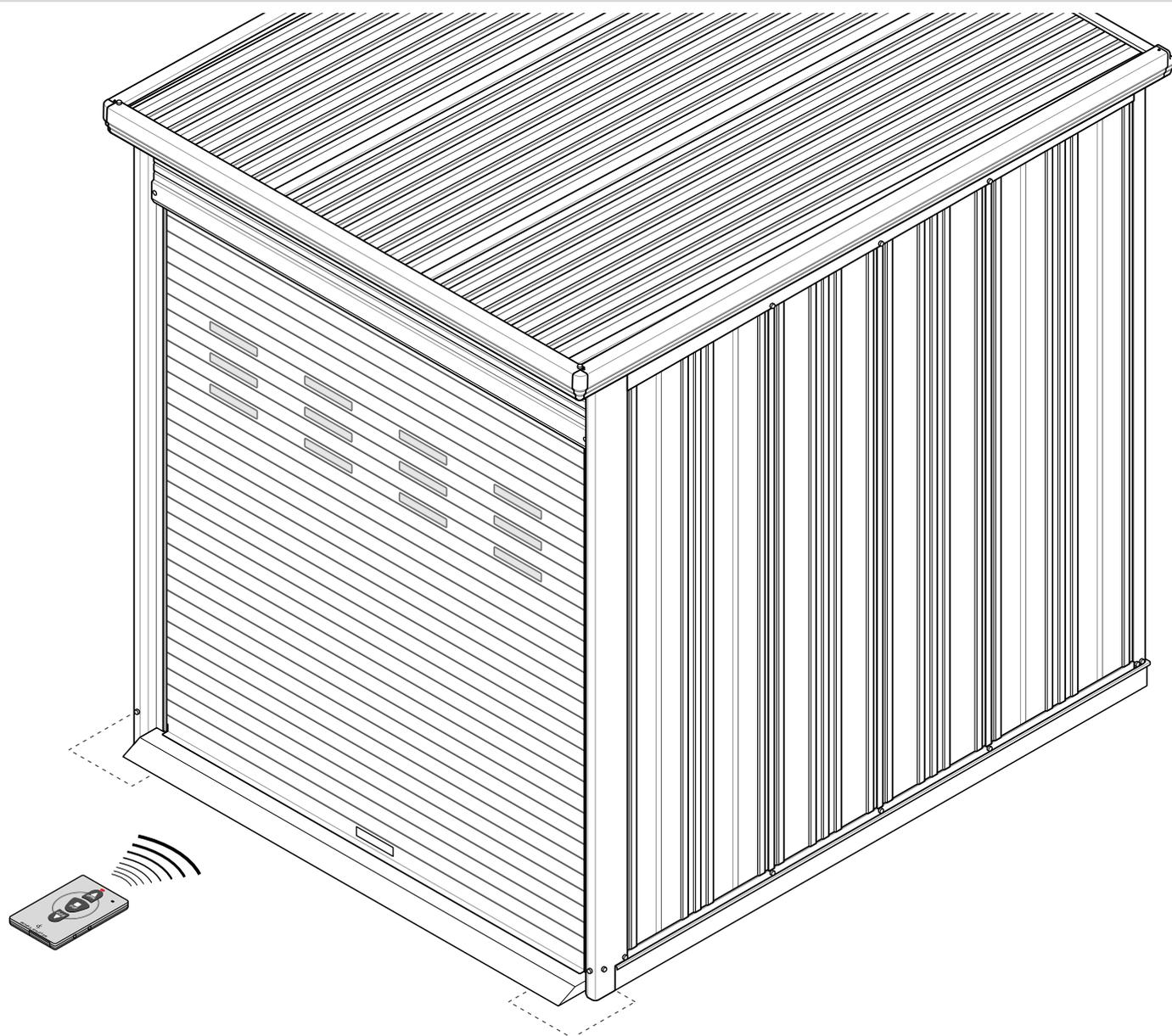
バイクシャッターマン

組立説明書

(オプション)

電動巻取シャッター

2タッチ操作仕様



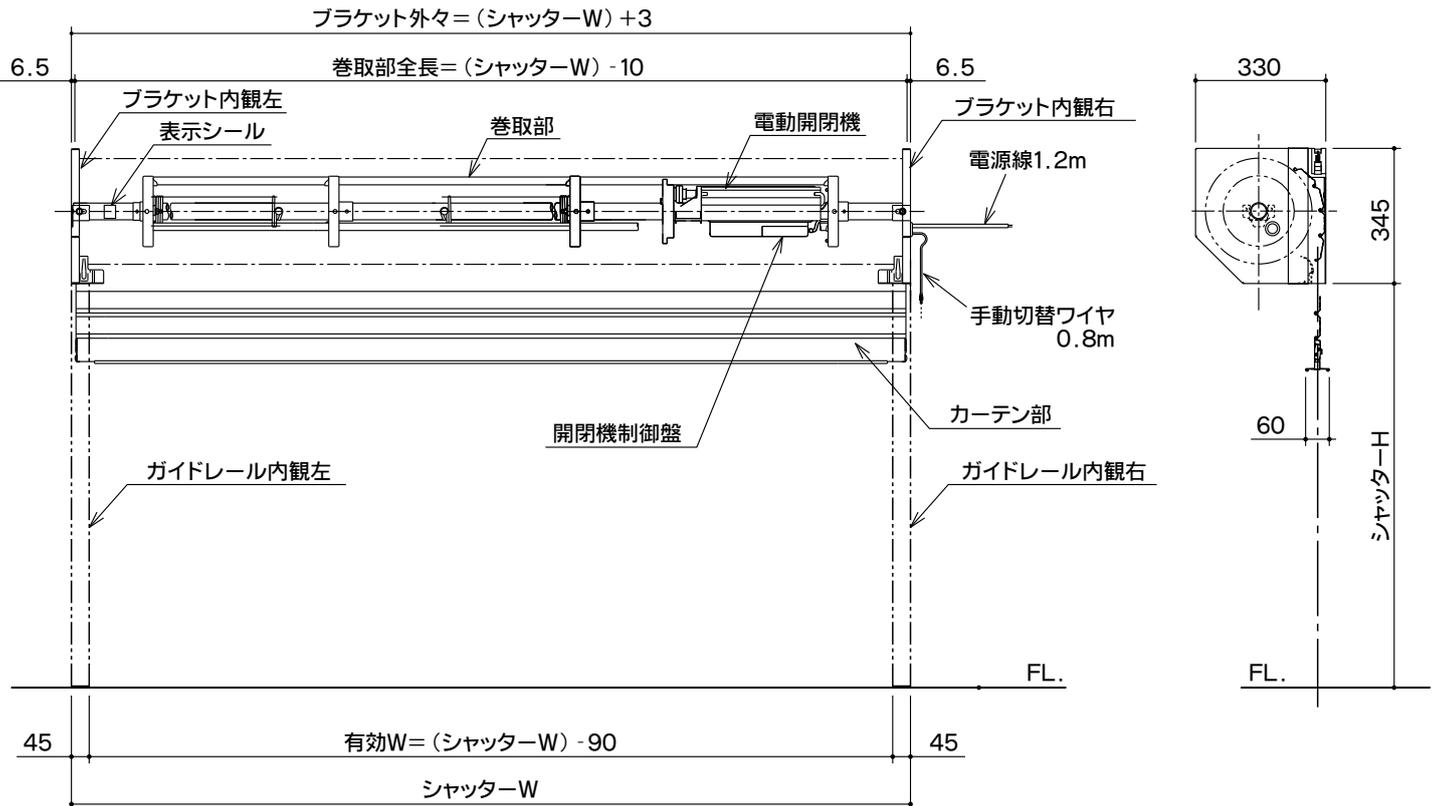
ご購入いただき、ありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しく組み立ててください。

TAKUBO 株式会社 田窪工業所

[SD-R0-0990-00-00]

1. 概観図

【内観図】

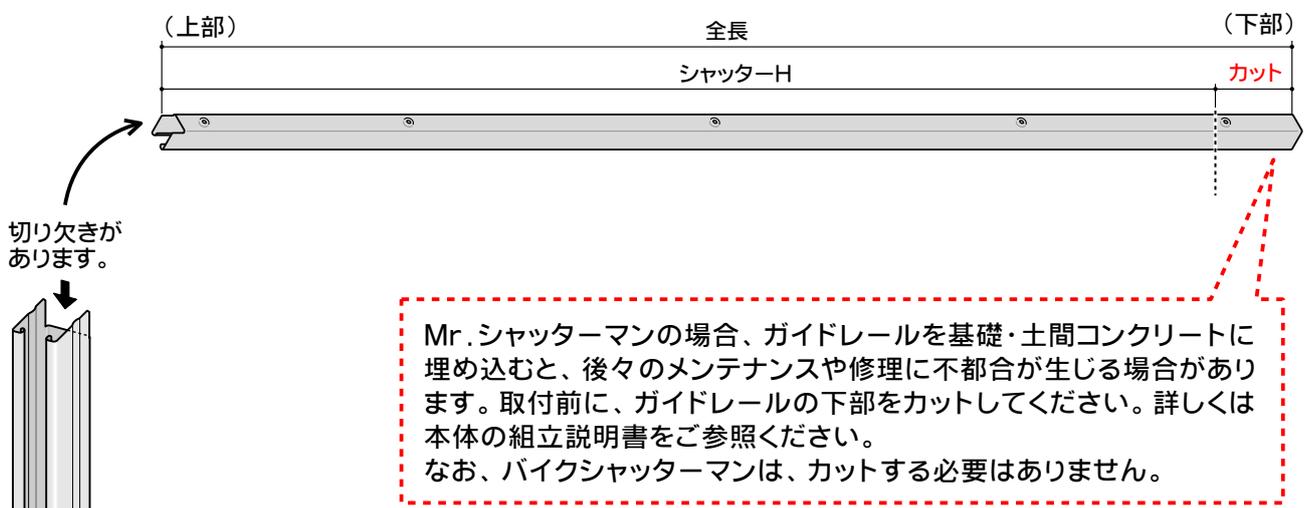


(単位はmm)

適用機種	梱包番号	シャッターW	シャッターH		スラット枚数
			Mr.シャッターマン WS型	バイクシャッターマン BS型	
1819・1822・1826・1829型	2WS-R617	1708	2342	2090	39枚
2219・2222・2226・2229型	2WS-R620	2076	2342	2090	39枚
2519・2522・2526・2529型	2WS-R624	2408	2342	2090	39枚
2919・2922・2926・2929型	2WS-R627	2776	2342	2090	39枚

【ガイドレール】

- Mr.シャッターマン WS型用 … 全長 = 2412 mm
- バイクシャッターマン BS型用 … 全長 = 2109 mm



2. 電気供給について（電気工事業者の方へ）

①電 源 アース端子付 AC100V ……………（UL規格のアース仕様）



アース端子付

- ②専用ブレーカーを設定して、メインブレーカーから直接取らない様にしてください。
- ③屋内配線から電源を取る場合は、既設ブレーカーの方が容量が大きいことを確認ください。
- ④屋外防水コンセントなどから電源を取る場合は、既設ブレーカーの方が容量が大きいことを確認ください。
- ⑤配線は1.6～2.0mmの平行線をご使用ください。
- ⑥消費電力 200W（ブレーカーは10A程度が目安）／1台

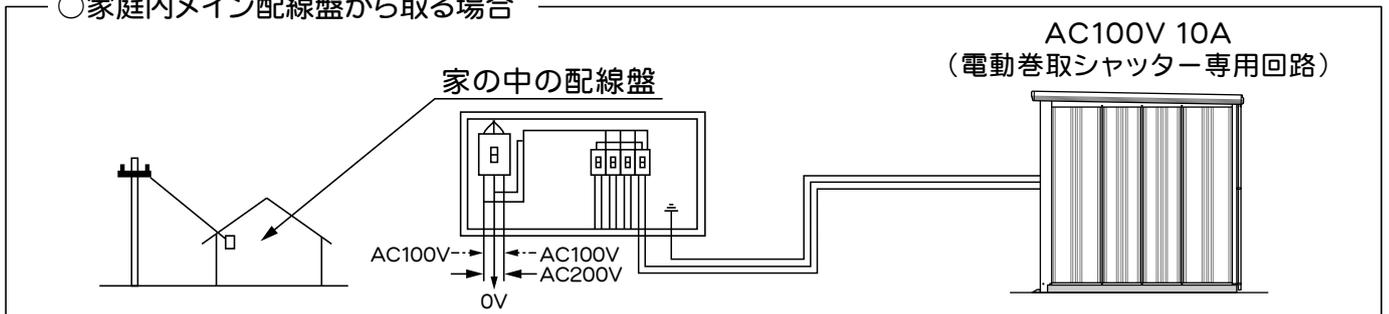
電気供給図



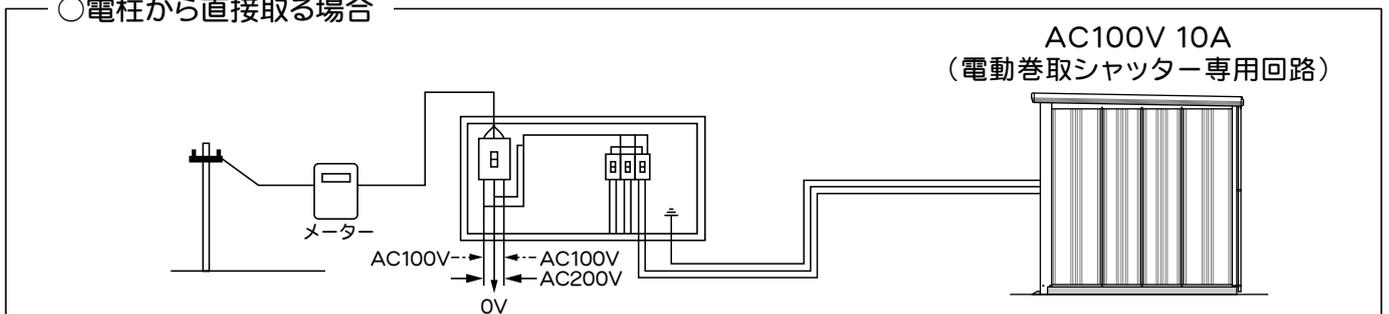
注意

アースを物置から取らないでください。

○家庭内メイン配線盤から取る場合



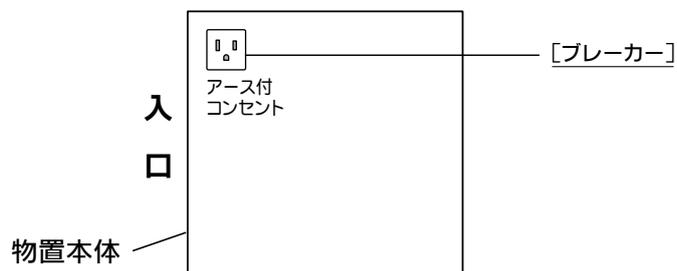
○電柱から直接取る場合



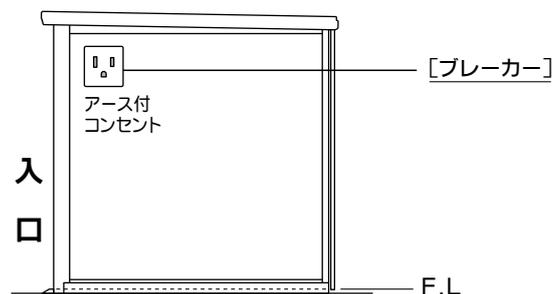
○物置内配線

コンセントは、本体左前の上部付近に取り付けてください。

【平面図】



【側面図】



3. 電動巻取シャッターの取付け

使用部品

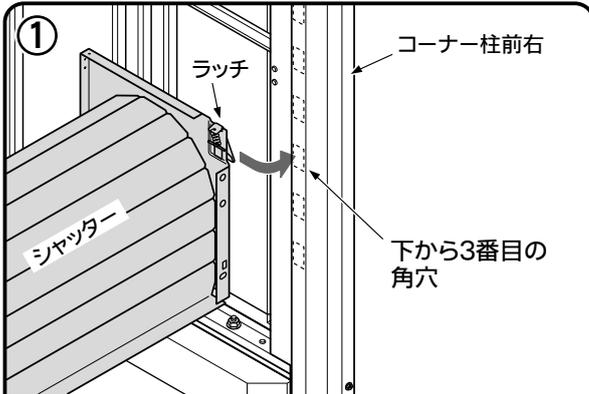
電動巻取シャッター 1

電動巻取シャッターは、正面から見て左側にモーターが内蔵されています。左側の方が重いので、ご注意ください。

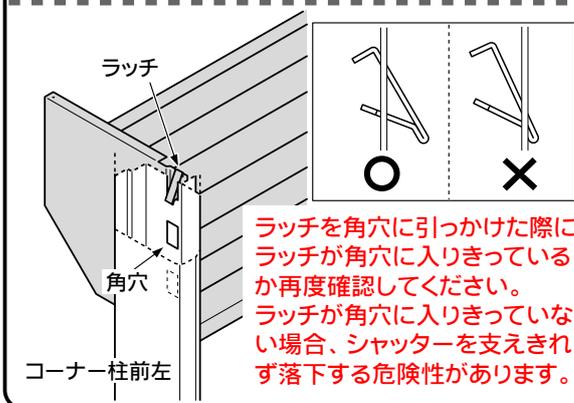


注意

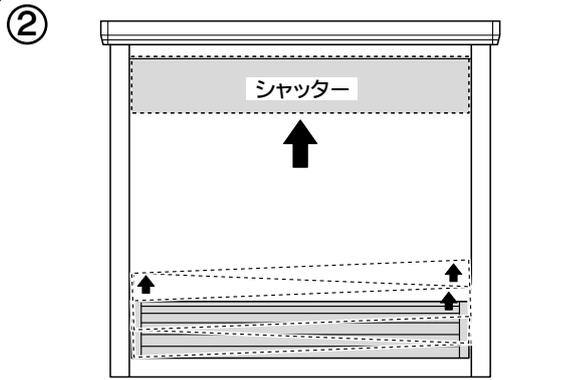
- この作業は、必ず2人以上で行ってください。
- フィルムは、シャッターを本体にネジ止めするまで、はずさないでください。
- 組立前に、シャッター内側に貼り付けてあるフック棒とホイールカバーをはずしてください。
- シャッター両端の下に、シャッターが巻き戻らないための固定金具（P6 参照）が取り付けられていますが、ここではまだはずさないでください。



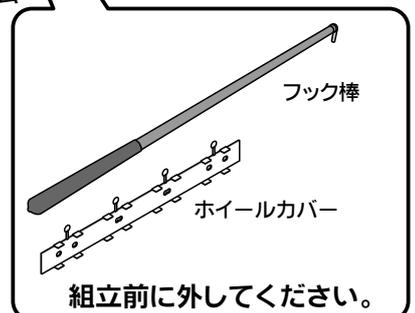
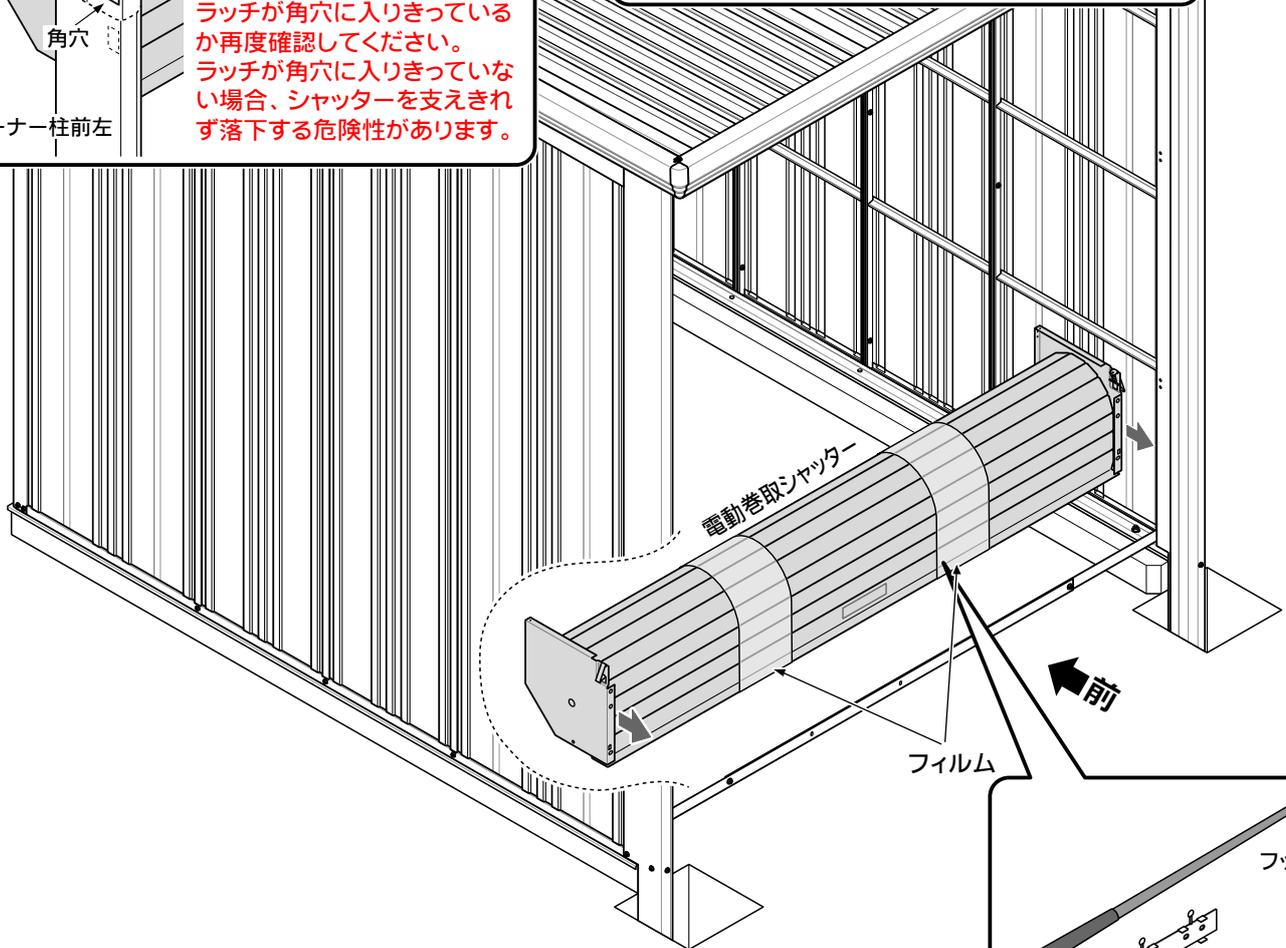
シャッター両側面のラッチを、コーナー柱前の下から3番目の角穴に引っ掛けます。



ラッチを角穴に引っ付けた際にラッチが角穴に入りきっているか再度確認してください。ラッチが角穴に入りきっていない場合、シャッターを支えきれず落下する危険性があります。



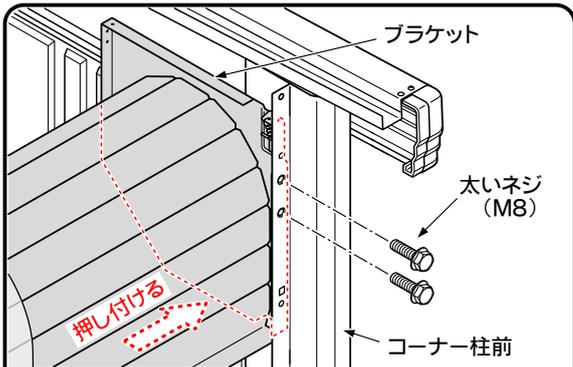
ラッチの掛かり具合を確認しながら、角穴1段ずつ左右交互にシャッターを持ち上げてください。



組立前に外してください。

4. 電動巻取シャッターの固定・パラペットの取付け

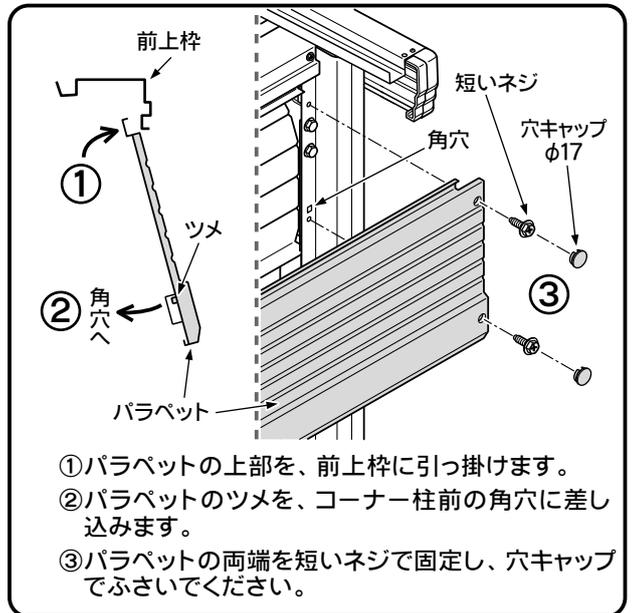
●シャッターの固定



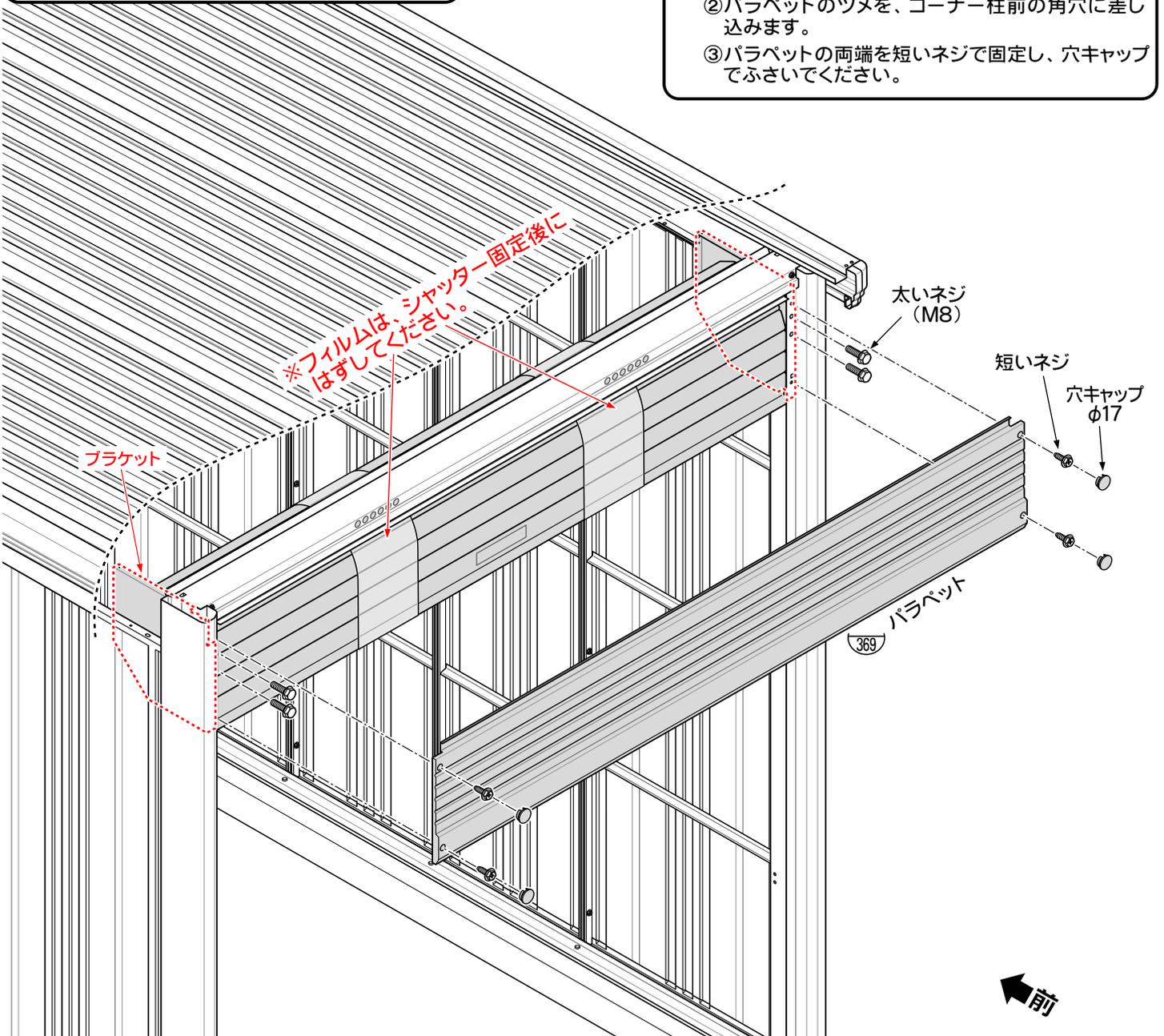
- ブラケットの下部を、コーナー柱前に押し付けながら、コーナー柱前の上から3番目と4番目の穴に、太いネジ(M8)でネジ止めしてください。
すき間があると、シャッターを正常に開閉できません。
- シャッターが固定できたのを確認してからフィルムをはずしてください。

使用部品

太いネジ (M8)	4
369 パラペット	1
短いネジ	4
穴キャップ (φ17)	4



- ①パラペットの上部を、前上枠に引っ掛けます。
- ②パラペットのツメを、コーナー柱前の角穴に差し込みます。
- ③パラペットの両端を短いネジで固定し、穴キャップでふさいでください。

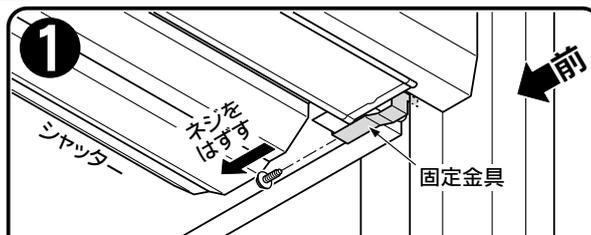


5. ガイドレール・ホイルカバーの取付け

使用部品

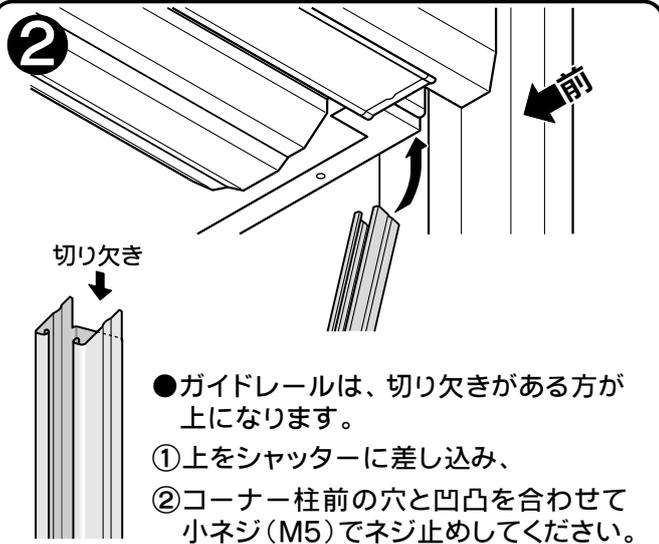
③56	ガイドレール	2
	小ネジ (M5)	10
	ホイルカバー	3または4

後々のメンテナンスや修理にそなえてガイドレールをカットしてください。詳しくは、本体の組立説明書をご参照ください。



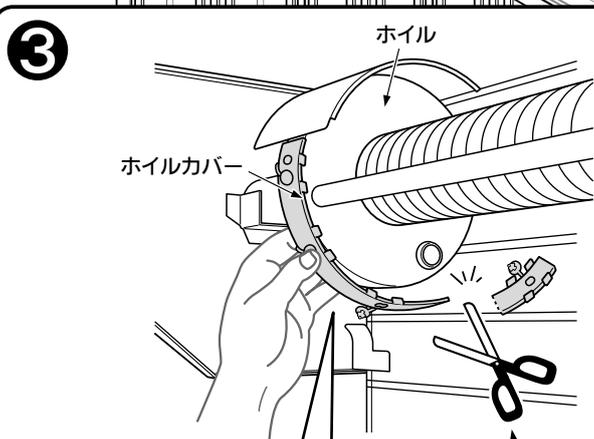
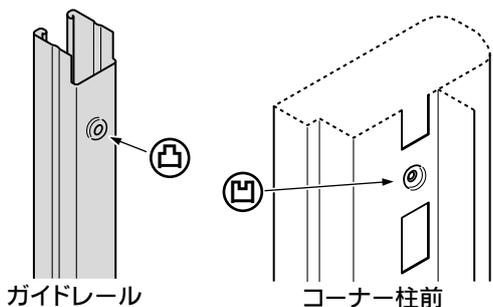
ガイドレールを取り付ける前に、シャッターの固定金具を取り除いてください。

- 物置本体を解体・移設する時は、必ずシャッターを固定金具で固定してください。そのため固定金具の保管を心がけてください。
- バイクシャッターマン BS型には、ホイルカバーは使用しません。
- WS-1819・1822・1826・1829・2219・2222・2226・2229型は、ホイルカバーを3ヶ所に取り付けます。
- WS-2519・2522・2526・2529・2919・2922・2926・2929型は、ホイルカバーを4ヶ所に取り付けます。



●ガイドレールは、切り欠きがある方が上になります。

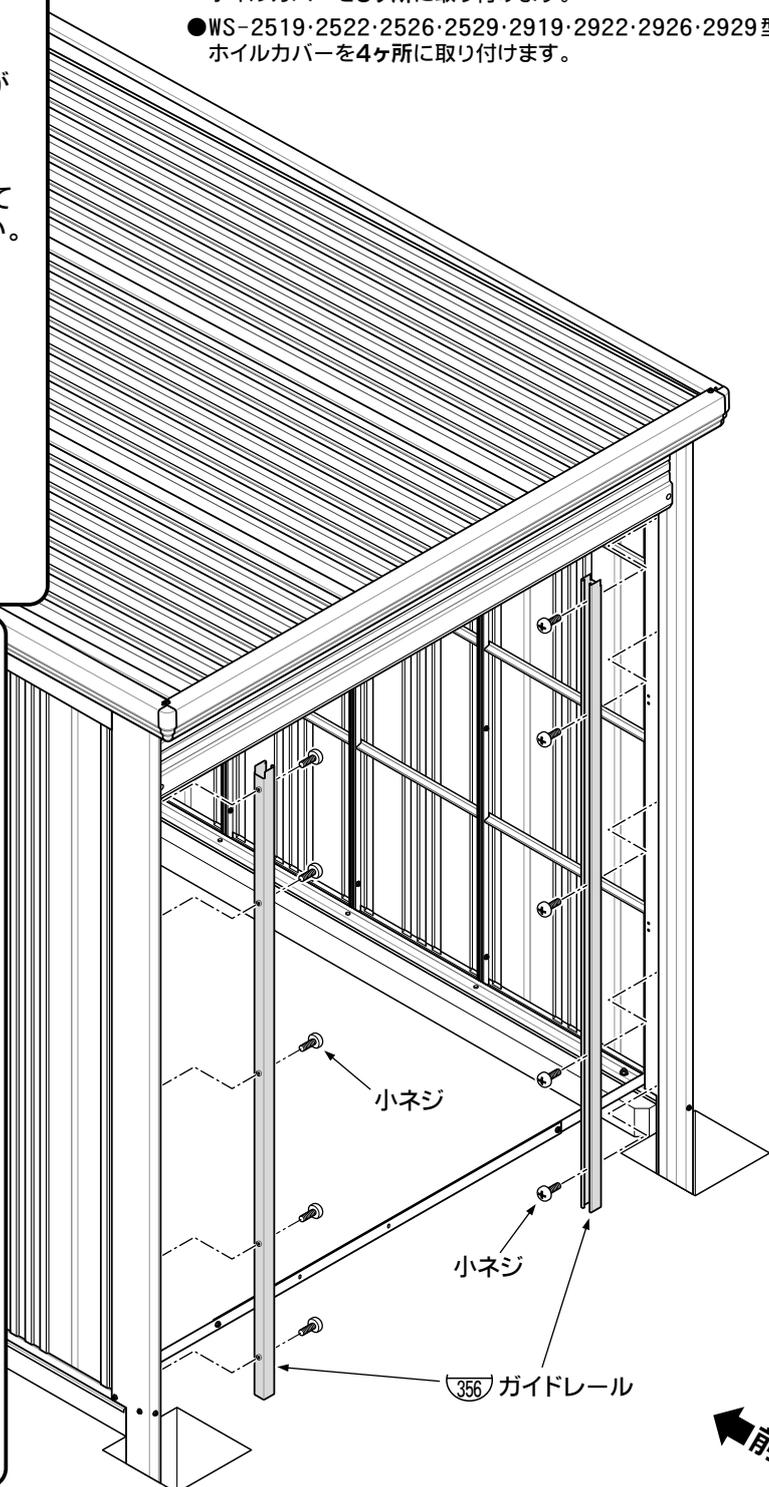
- ①上をシャッターに差し込み、
- ②コーナー柱前の穴と凹凸を合わせて小ネジ (M5) でネジ止めしてください。



ホイルの穴に合わせて、キャップを押し込みます。

キャップ

- ホイルカバーは、シャッターを一番下までおろした状態で取り付けます。
- ホイルとシャッターパネルの隙間が少なく、取り付けできない部分は切断します。
- ホイルカバーは、**すべて同じ長さ**に切りそろえて取り付けてください。(左右のバランスが狂います)

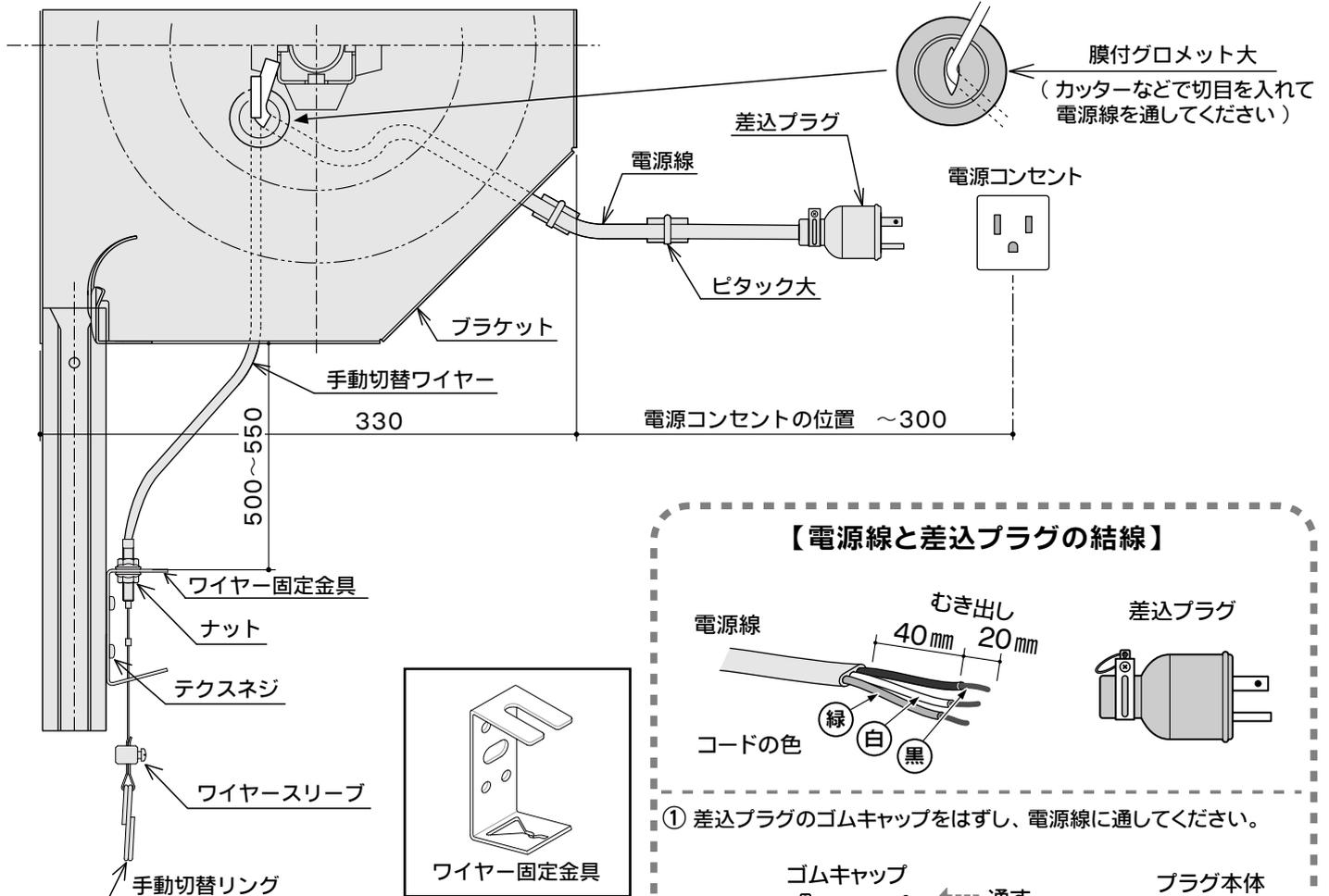


6. 電源の接続と手動切替ワイヤの取付け

1. ブラケットのφ25穴に、膜付グロメット大をはめ込み、電源線を通します。
2. 電源線に差込プラグを取り付けます。
3. 電源コンセントは、ブラケットから300mmを目処に設けてください。
4. ワイヤー固定金具は、PANテクスネジ(4×16)で前コーナー柱に固定してください。
5. 手動切替ワイヤーを、ワイヤー固定金具に取り付けてください。
6. 手動切替ワイヤーの先に、下図の要領で手動切替リングを取り付けます。
7. 反対側(内観左側)にも、膜付グロメット大をはめ込んでください。

使用部品

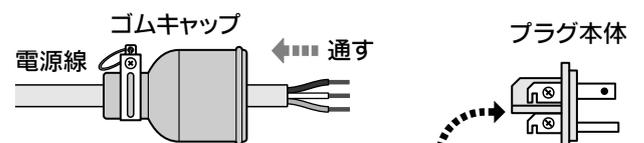
ワイヤー固定金具	_____	2
PANテクスねじ(4×16)	_____	2
ワイヤースリーブ	_____	1
手動切替リング	_____	1
ピタック大	_____	2
膜付グロメット大	_____	2
差込プラグ	_____	1
ナット	_____	2



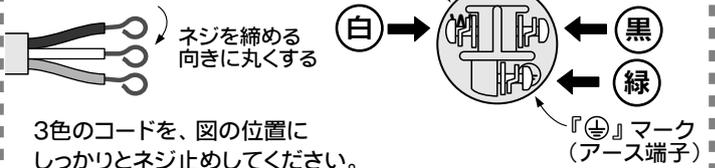
【電源線と差込プラグの結線】



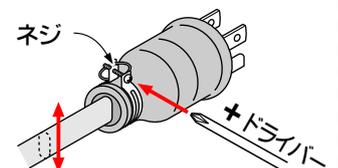
- ① 差込プラグのゴムキャップをはずし、電源線に通してください。



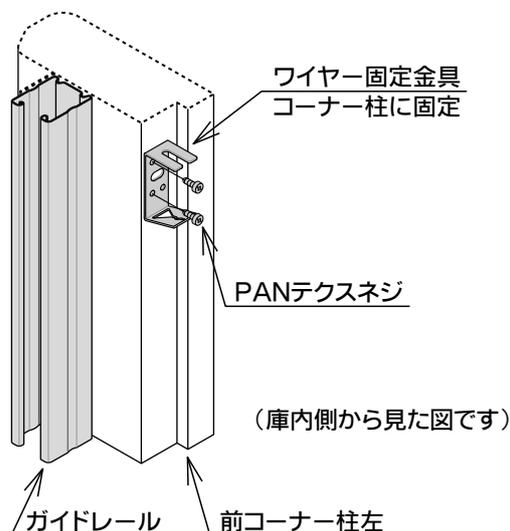
- ② プラグ本体に電源線をつないでください。『W』マークの方向から見た図



- ③ ゴムキャップをかぶせ、ネジを締めます。その時、締め付ける方向に対して、電源線がタテ向きになるように、しっかりと締め付けてください。



●ワイヤー固定金具の取付け方

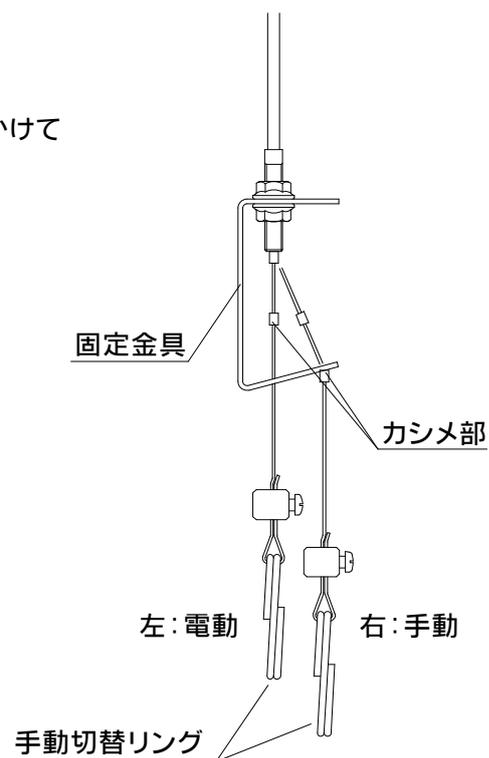
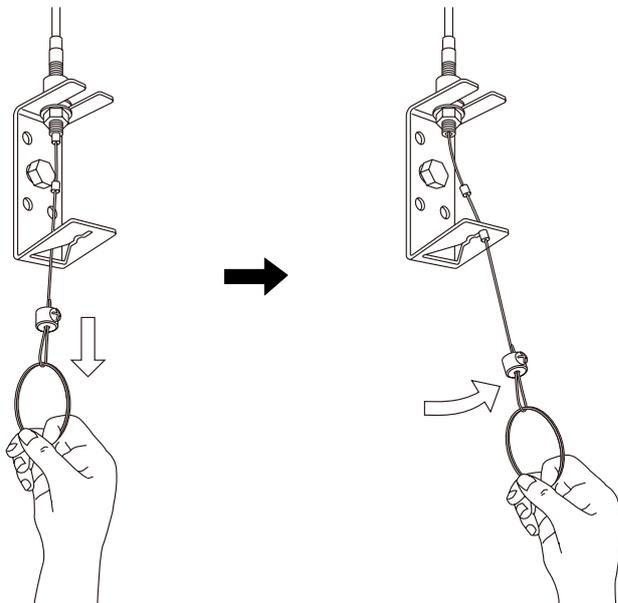


7.手動・電動の切替え方法

手動切替リングを引っ張ってワイヤーのカシメ部の引っかける場所を移動することで切替えができます。

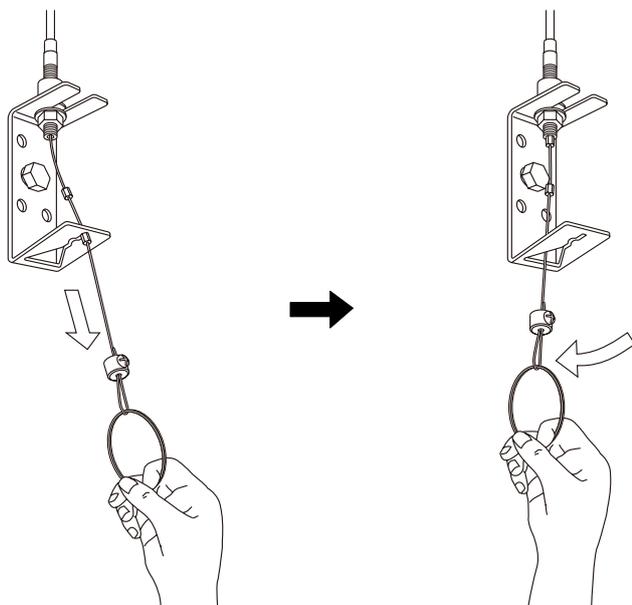
【電動 → 手動への切替え】

- 1.手動切替リングを真下にゆっくりと引いてください。
- 2.ワイヤーの下側のカシメ部を大きい穴から細い穴へ移動させ金具に引っかけて手を離してください。



【手動 → 電動への切替え】

- 1.手動切替リングを真下にゆっくりと引いてください。
- 2.ワイヤーを細い穴から大きい穴へ移動させ、手を離してください。



※「手動」から「電動」へ切替えた後は、いちどシャッターを上限停止位置まで動かしてください。

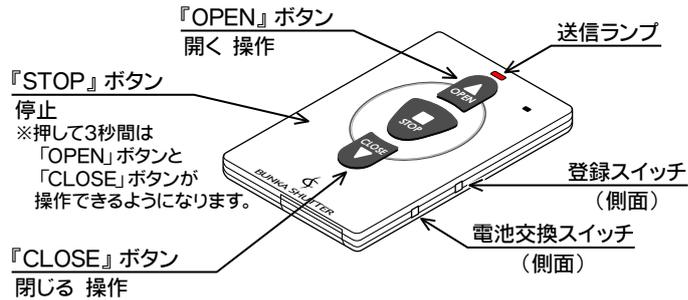
8. 上下限リミット（停止位置）の設定

手動確認

- 本体取付後、手動で数回開閉し「スラットの片寄り」「片下り」がないことをご確認ください。不具合があれば調整してから、上下限リミット（停止位置）の設定を行ってください。

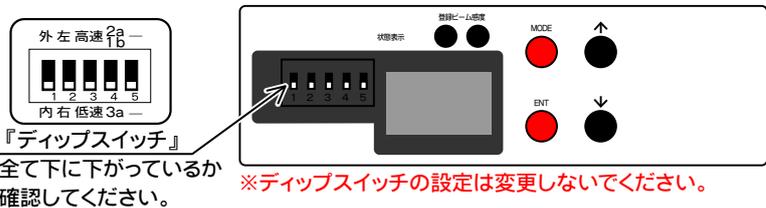
各部の名称

【リモコン送信機】



【電動開閉機】

(シャッターを閉めた状態で、真下から見上げた図です。)



※土間コンクリート作業を後日行う場合は、下限位置が変更になります。事前に土間の高さを確認しておくか、土間作業後に再設定が必要になります。

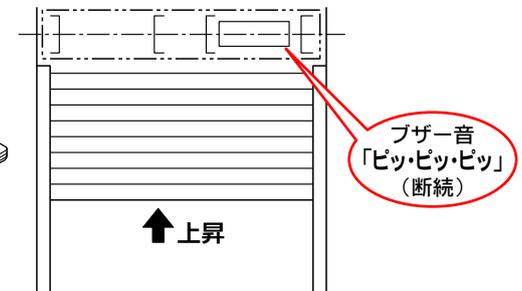
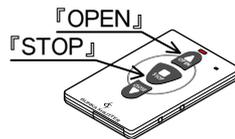
上下限リミット（停止位置）の設定

- 必ず、最初に上下限リミットの設定を行ってください。
- 上限リミットの設定までの操作を完了しないと、下限位置でも停止しませんのでご注意ください。
- 製品に同梱のリモコン送信機（登録済み2枚中1枚）を用意してください。

【初期設定をするときは】

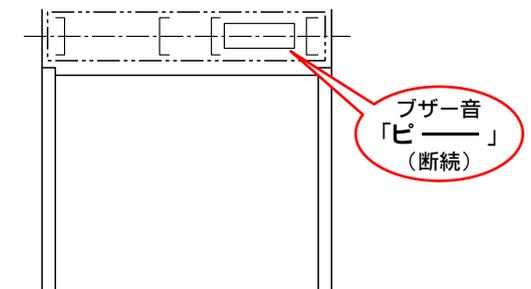
① シャッター上昇

『STOP』ボタンを押して3秒以内に『OPEN』ボタンを押してシャッターを開いてください。一旦下がる動作をしたあと上昇します。



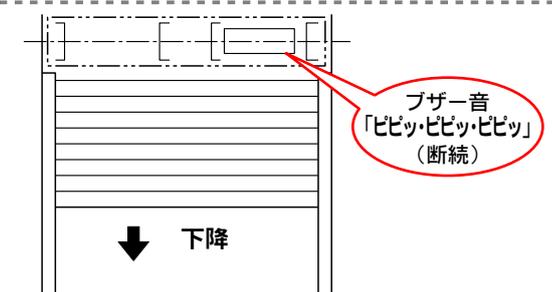
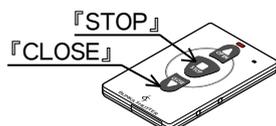
② 原点（上限）位置の設定

シャッターが自動で上昇して上限停止位置で巻き締めて自動で停止します。



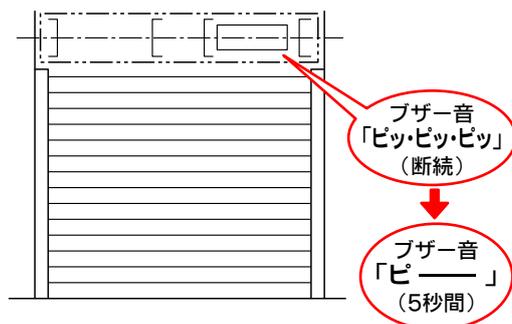
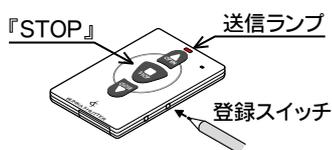
③ シャッターを閉める

シャッターが停止後、『STOP』ボタンを押して3秒以内に『CLOSE』ボタンを押してシャッターを下降させてください。



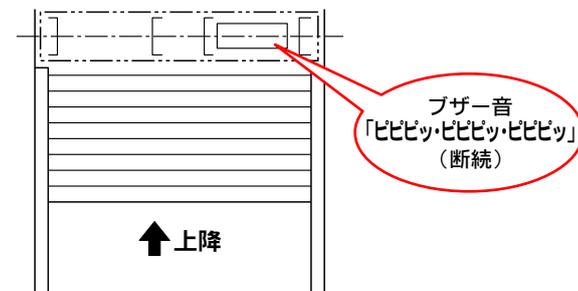
④ 下限位置の設定

『STOP』ボタンを押して下限に設定したい位置で、シャッターを停止させてください。
その後、『STOP』ボタンを押したまま『登録スイッチ』を送信ランプが点灯し、自動消灯するまで押し続けてください。



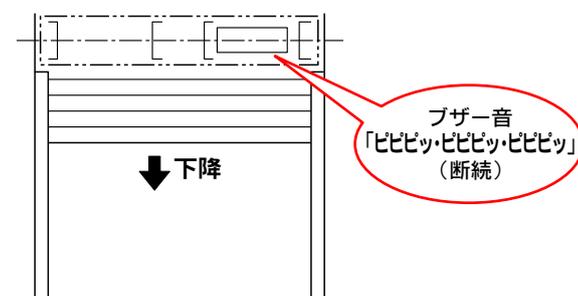
⑤ シャッター自動上昇（負荷感知学習動作）

シャッターが自動で上昇を始めます。



⑥ シャッター自動下降（負荷感知学習動作）

シャッターが自動で下降を始めます。



⑦ 設定の完了

下限位置で自動的に停止し、ブザー音（5秒間）が鳴ります。

以上で、
上下限リミットの設定は完了です。

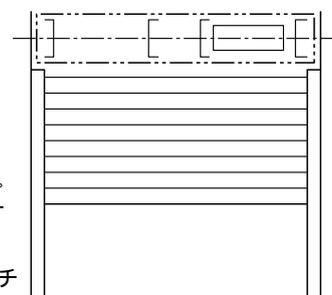
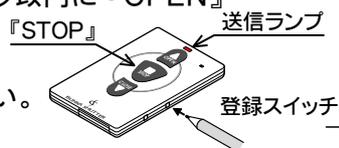


【再設定をするときは】

『STOP』ボタンを押したまま「登録スイッチ」を送信ランプが点滅するまで押し続けてください。

点滅後は『STOP』ボタンを押して3秒以内に『OPEN』ボタンを押してシャッターを開いてください。

その後はP9②から順に進めてください。



【注意事項】

- ⑤～⑥自動上昇、自動下降の設定の際に、シャッターを停止させた場合は④下限位置の設定の状態に戻ります。
- 設定モード中、3分間全く操作を行わずにシャッターを停止させていた場合、通常のモードに戻ります。
初回設定時は時間（3分間）の制限はありません。
- 設定が完了済みでディップスイッチ1～3の切替を行った場合、上限設定位置、負荷学習値（内部データ）はリセットされ、強制的にリミット設定（②シャッター上昇の状態）モードになります。

9. 障害物感知装置の動作確認とその他の操作方法

[障害物感知時の動作と注意]

(1) シャッター降下中

- ・降下中に開閉機が負荷の変動を検出すると、シャッターは停止後2秒間ブザーが鳴りながら上昇し、停止します。
- ・反転上昇停止時は、閉操作ができません。
→ その場合は、一度リモコン送信機の「STOP」ボタンを押して3秒以内に「OPEN」ボタンを押してシャッターを上昇させてください。

(2) シャッター上昇中

- ・上昇中に開閉機が負荷を検出すると、シャッターは停止します。(停止後ブザーが2秒間鳴ります。)

(3) 負荷感知不能エリア

- ・上限から約300mm降下するまでの間は、負荷を検出できません。
- ・開閉操作開始から1秒間(モーターの回転が安定するまでの間)は、負荷感知機能は働きません。

[停電の場合]

- ・停電しただけでは、上下限の停止位置は狂いません。
- ・停電した場合でも、シャッターは設定された上下限停止位置を記憶しています。(但し、負荷検出の感度が落ちています。)
いちど電動で上限停止位置まで動かしてください。感度が戻ります。(※ブザーが鳴り注意を促します。)

[手動への切替え方]

- ・出荷時点は、「電動」になっています。
- ・手動切替リングを真下にゆっくり引っ張りワイヤの下側のカシメ部を大きい穴から細い穴へ移動させ、固定金具に引っかけてください。(P8参照)
- ・通常は「電動」の状態にしておきます。停電など緊急の場合のみ「手動」に切替えてお使いください。

[手動操作を行った場合]

- ・「手動」から「電動」へ切替えた後は、**いちどシャッターを上限停止位置まで動かしてください。**シャッターが上限停止位置まで開くまでは『CLOSE』ボタンは一旦操作不能となります。上限位置を検知後、通常モードへ復帰します。

[下限の停止位置を変える場合]

- ・下限停止位置を変える場合は、[下限リミット(停止位置)の再設定]を行ってください。

[サーマルプロテクタの働き]

- ・連続開閉などにより、モーターの温度が一定以上に上昇すると、サーマルプロテクタが働きモーターが止まります。
- ・サーマルプロテクタが作動するぎりぎりの温度でシャッターを開閉させた場合、まれに負荷感知動作で停止・反転上昇する場合があります。
- ・サーマルプロテクタは30分程度で自動復帰しますが、その間シャッターは電動での開閉はできません。

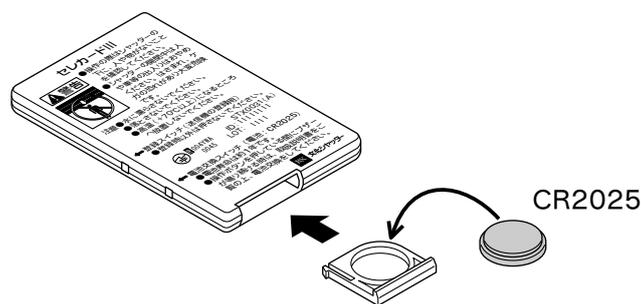
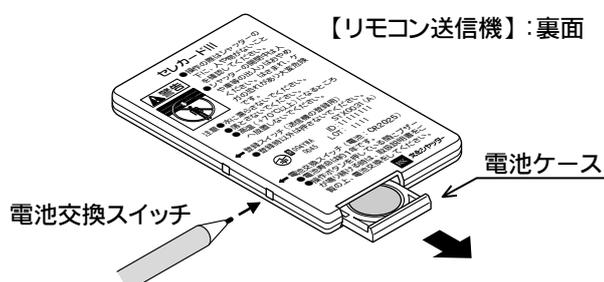
[スラットの巻き弛み、緩みに注意]

- ・スラットの巻き弛み、緩みや片寄りのある場合は、上下限リミット設定の前に手直してください。障害物感知が正しく設定できない場合があります。
- ・負荷感知が作動した場合も、スラットの巻き弛みを起こしていることがあります。いちど下限停止位置まで動かして確認し、必要に応じて手直してください。

[リモコン送信機の電池交換方法]

電池は通常1年を目安に交換してください。電池容量が低下すると、スイッチを押している間「ピッピッピッ」という音が鳴り続けます。(付属の電池は作動確認用です。寿命が短い場合がありますが、ご容赦ください。)

- ① 交換用の電池を用意します。(コイン型リチウム電池:CR2025×1個)
- ② 側面の「電池交換スイッチ」をボールペン等の先で押すと「電池ケース」がスライドします。「電池ケース」をリモコン送信機から引き出してください。
- ③ 新しい電池と交換して「電池ケース」を元に戻してください。電池の+マークは下になります。



10. (オプション) リモコン送信機の追加登録

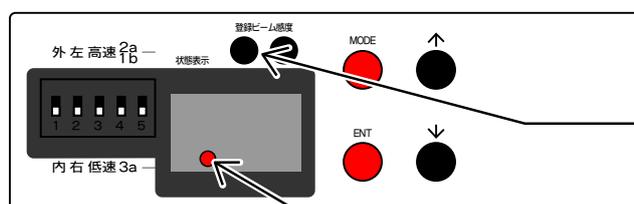
(シャッターを閉めた状態で、真下から見上げた図です。)

【電動開閉機】



操作パネル

制御盤

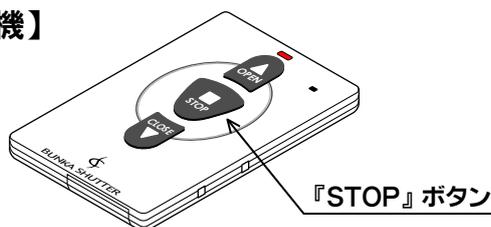


『登録スイッチ』

ボールペンの先などで
押してください。

『動作ランプ』(ドットマーク)

【追加登録する リモコン送信機】



■ リモコン送信機の追加登録は、つぎの要領で行ってください。

- ① シャッター停止中に【制御盤】の「登録スイッチ」を、3回連続 押します。
動作ランプが「点滅」を始めます。
- ② 登録する【リモコン送信機】の「STOP」ボタンを押します。
動作ランプは、「3秒間 点滅」→「点灯」と変わります。
複数のリモコン送信機を登録する場合は、同様にして登録する
リモコン送信機の「STOP」ボタンを押します。(最大16台の登録が可能)
- ③ 【制御盤】の「登録スイッチ」を、1回 押します。
動作ランプが「消灯」し、登録完了です。

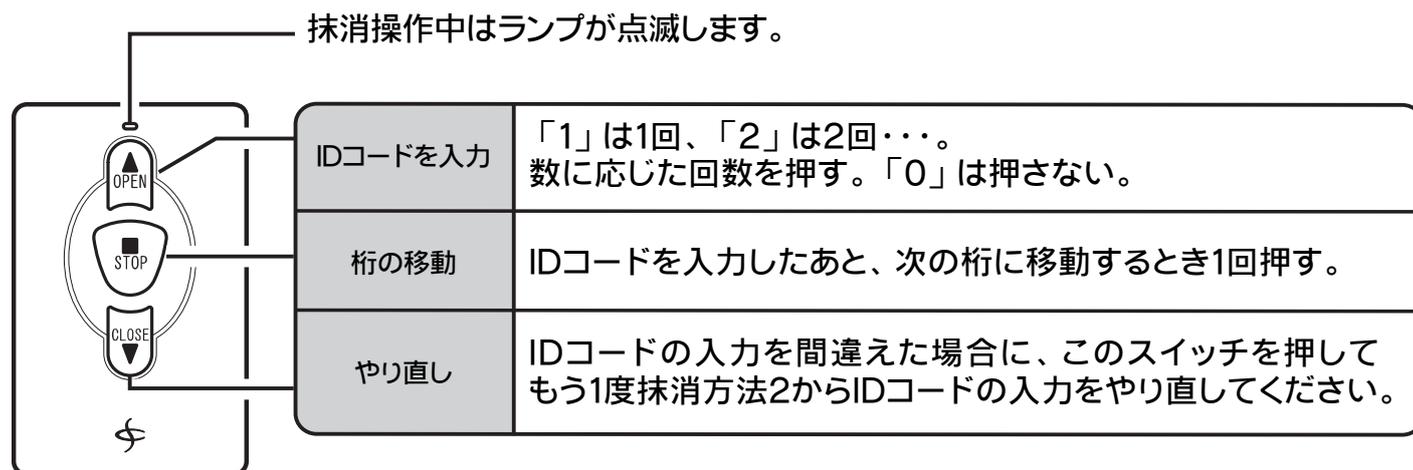
11. リモコン送信機 (IDコード) の抹消方法

現在ご使用中のリモコン送信機を使って、リモコン送信機のIDコードを抹消をします。



- リモコン送信機を盗難・紛失した場合は、このページの手順にしたがい紛失したリモコン送信機を使えないようにする必要がありますが、その際、紛失したリモコン送信機のIDコードが必要となります。
- リモコン送信機のIDコードの抹消作業は、シャッターの見えるところで行ってください。シャッターにリモコン送信機の電波が届かないところではできません。
- 抹消操作中のリモコン送信機からのシャッター操作は無効となります。
- 登録・抹消以外の目的で登録スイッチを操作しないでください。

IDコードを入力するときのスイッチの役割



- ① 現在ご使用中のスイッチの登録スイッチを3秒間長押しすると、ブザーが1秒間鳴ります。

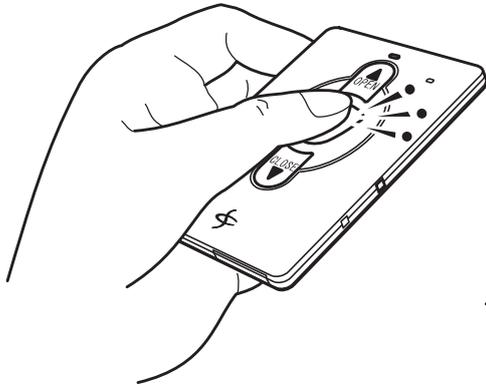
現在ご使用中のリモコン送信機



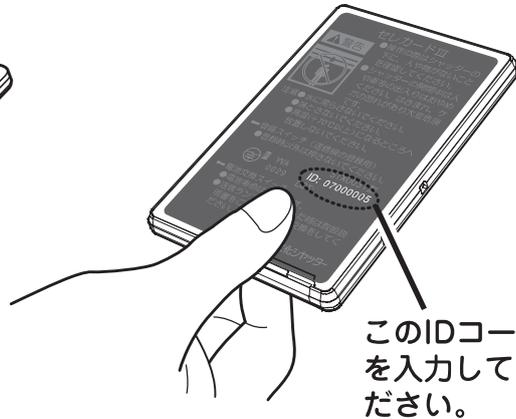
※登録スイッチを押してから1分以上何も操作しないと、抹消操作は無効となります。
抹消方法①からやり直してください。

- ② 抹消したいリモコン送信機の裏面に記載してあるIDコードを、現在ご使用中のリモコン送信機を使って下記の手順で入力します。

現在ご使用中のリモコン送信機



抹消したいリモコン送信機



入力回数を間違えた場合には、CLOSE (閉) スイッチを押してもう1度抹消方法②からIDコードの入力をやり直してください。

抹消を途中で中止したい場合には、1分以上リモコン送信機を操作しないでください。

(1分後に抹消操作が解除されてシャッター操作が可能になります)

(例) 抹消したいリモコン送信機のIDコードが「07650043」の場合

ID コード	0	➡	7	➡	6	➡	5	➡	0	➡	0	➡	4	➡	3	
スイッチの 操作	何も押さない	STOP を1回押す	OPEN を7回押す	STOP を1回押す	OPEN を6回押す	STOP を1回押す	OPEN を5回押す	STOP を1回押す	何も押さない	STOP を1回押す	何も押さない	STOP を1回押す	OPEN を4回押す	STOP を1回押す	OPEN を3回押す	STOP を1回押す

- ③ 現在ご使用中のリモコン送信機の登録スイッチを1回押します。ブザーが1秒間鳴り、抹消が完了です。
抹消したリモコン送信機がお手元にある場合は、抹消したリモコン送信機でシャッターの開閉をして動かないことを確認してください。シャッターが動く場合は、再度抹消方法1からやり直してください。

現在ご使用中のリモコン送信機



12. 故障かなと思ったら

こんなときは	考えられる原因・対処法	参照 ページ
リモコン送信機のボタンを押しても赤いランプが点灯しない	1. リモコン送信機の電池が消耗していませんか。 リモコン送信機の電池を交換してください。	P11
リモコン送信機のボタンを押してもモーターが動かない	1. シャッターの元電源（1次側電源）が切れていませんか。 シャッターの元電源（1次側電源）を入れてください。 2. 「手動」操作になっていませんか。 手動切替リングをゆっくり引っ張って「電源」側に切り替えてください。 「電源」側に切り替え後は、いちどシャッターを上限位置まで動かしてください。 3. 停電がありませんでしたか。 いちどシャッターを上限位置まで動かしてください。 4. シャッターが凍結していませんか。 シャッターの凍結を排除してから操作してください。 5. リモコン送信機のIDは登録されていますか。 リモコン送信機のIDを登録してください。	P8 P11 P11 P12
新しいリモコン送信機を登録してもシャッターが動かない	1. リモコン送信機IDの登録個数が受信機の最大登録可能数（16個）を超えていませんか。 「現在の登録数」をご確認ください。	P12
リモコン送信機の「CLOSE」ボタンを押してもシャッターが下限位置まで下らない	1. 障害物がはさまった状態になっていませんか。 障害物を取り除いてください。 2. 「手動」から「電動」へ戻したとき、シャッターを上限位置まで動かし忘れていませんか。 いちどシャッターを上限位置まで動かしてください。	P11 P8
シャッターがスムーズに動作しない 開閉時に異常音がする シャッターに大きな損傷がある	ただちに使用を止め、弊社営業所にご相談ください。	

●対処しても動かない場合または上記にあてはまらない場合は、弊社営業所にご相談ください。

この説明書はお客様が大切に保管してください。

【お客様へ】

このたびは、弊社のリモコンシャッター物置をお買い上げいただき
まことにありがとうございました。
もし、なにかご質問などございましたら
下記にご連絡お願い申し上げます。
今後とも、宜しくお願い申し上げます。

タクボ製品についてのお問い合わせ

一貫して生産されるタクボ製品は、品質管理には細心の注意を払っています。万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせがございましたら、下記の弊社営業所（AM9:00～PM5:00）までお気軽にご連絡ください。

西条事務所/工場	〒799-1392	愛媛県西条市北条962-7	0898(65)5000(代)
仙台営業所	〒983-0035	宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目8-12	022(783)3360(代)
東京営業所	〒132-0001	東京都江戸川区新堀1丁目6-5	03(3698)2205(代)
埼玉営業所	〒362-0066	埼玉県上尾市大字領家91-1	048(783)0771(代)
横浜営業所	〒226-0028	横浜市緑区いぶき野31-14	045(984)1891(代)
名古屋営業所	〒485-0081	愛知県小牧市横内字下割子287-21	0568(74)5506(代)
大阪営業所	〒561-0891	大阪府豊中市走井3丁目1-2	06(6844)3300(代)
広島営業所	〒731-0231	広島市安佐北区亀山4-11-54	082(814)6690(代)
高松営業所	〒761-8075	香川県高松市多肥下町1529-8	087(865)1349(代)
松山営業所	〒790-0062	愛媛県松山市南江戸2丁目4-10	089(922)4300(代)
福岡営業所	〒812-0888	福岡市博多区板付7丁目11-15	092(591)5524(代)

(<https://www.e-ty.co.jp>)

TAKUBO 株式会社 **田窪工業所**